夕刊 磐城時報

十七日

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行 岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所 磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

兩軍互格の力量が待たる、熱戰！

―奉天對日立の野球戰

日滿親善野球使節團奉天實業チームは豫定を早めて十六日午後九時十五分湯本驛着列車で來郡、同夜は湯本町山形屋旅館に一泊して今十七日午後三時から湯本町營球場で炭礦聯合軍と對戰（雨天の場合は明十八日磐中球場でダヴルヘッダーの豫定）いよ〳〵明十八日は磐中球場で日立鑛山―奉天實業の兩軍が雌雄を決することゝなつてゐる。

なほ昨十六日日立町鑛山グラウンドで奉天對日立鑛山の試合が行はれたが日立碣石一壘手がマウンドを守つて好投、三對一で奉天軍が辛くも勝つたこの戰績から見ても兩軍の力量は大体互格と稱せられ明十八日日立チームが塚越主戰投手を陣頭に送つて復讐せんと必勝の策を練つてゐるから明日の磐中球場には白熱的なクロツスゲームが演ぜられるものと期待され早くもファンの胸を躍らせてゐる。

年上の人妻に懸想されて情死

鐵路で邪戀を清算

男は美貌の勇士

十六日午後十一時四十三分ころ石城郡內鄉村綴字御臺境地內常磐線路で折柄驀進して來た綴驛發午後十一時四十分下り旅客二三九列車に胴体を堅く縛つた男女が飛び込み心中を計り約十米ひきづられて無殘の死を遂げた、平署で檢視の結果男は福島縣石城郡內鄉村高坂磐城炭礦雜夫秋田縣雄勝郡東成瀨村田子內生れ福地清弟信（二五）女は內鄉村御殿磐城炭礦坑夫小川喜一妻カネヨ（二四）と判明した。現場には五体バラ〳〵に轢斷された兩名の死体が散亂鐵路を血しぶきに彩つて凄慘な光景を呈してゐた、男福地清（二五）は豫備陸軍步兵上等兵で滿洲事變出征戰功により勳八等を授けられた美貌の勇士であるが、去る六月鄉里から出稼ぎに來郡し磐城炭礦高坂坑に住み込んでから十二日目に作業中撰炭用ベルトに左腕を捲き込まれて重傷を負ひ同坑高坂病院に入院加療中に同じく負傷して入院した夫の看護に來てゐた喜一の妻カメヨ（二九）と同室のつれ〴〵から懇となり何時かしら人目を忍ぶ仲となつたのを最近喜一が知り家庭に風波が立ちはじめたので清は小川夫婦の幸福のために身を引くべく決意したが女が承知せず去る十三日男女相談の上家出、湯本町附近旅館に潛伏して最後の戀を語つた上鐵路によつて不倫の戀を清算したものである、同夜は降雨中であつたが相合傘で來たものらしく現場には一本の蛇の目傘と二足の下駄が殘つてあつた。

情死したカネヨの夫小川喜一は眞面目な男で同僚からも尊敬されてゐたが、奔放なカネヨはおとなしい夫に滿足せず美貌の清の下に走つたもので、男も女の情熱にほだされて死んだものと言はれてゐる。兩名の死体は十七日朝夫喜一及び男の飯場頭澁澤氏に引渡した。尚ほ傘の中には鉛筆で永々お世話になりました夫と別れる事に話が決つたが昨夜になつて二人の仲を割く者が出來たので此の上は死ぬより途がない、先立つ不幸はお許し下さい、死んで樂しい家庭を作ります、老父母の事はくれ〴〵もたのみます。と遺書があつた。

死んで樂しい家庭を作る

鉛筆の走り書き

▲野良荒し

平窪村曲田左官職松崎由太郎（二七）は十四日朝平町九品寺前の農松崎善太郎方の馬鈴薯六十貫を竊取同町で賣却せんとしてゐる處を平署員が取押へたが、同人は過般來野良荒しをしてゐたものと判明取調べ中である。

公金五千圓の拔取事件豫審終結

近く平支部で公判

浦和市字鯛ヶ窪居住崎玉縣秩父町大字大宮生れ元東京營林局庶務課雇深田光大郎（四四）が植田町營林署に送られる四千九百余圓の送金通知書を盜み平町常陽銀行支店から拂戻した竊盜、公印及び公文書僞造行使事件は平支部關口判事係りで豫審中の處漸やく終結、近く眞木辨護士係りで公判が開かれるが、豫審調査書に現はれた大体の事實は左の如くである。

理由は昭和八年から東京營林局庶務課雇を拜命日常の經費の外妻子の醫療費及子女の學費等で生活頓に窮迫を加へ日本勸業銀行浦和支店其の他より借受け居りたる合計約金貳千數百圓の債務を支拂ふへく同局長か地方營林署長宛に發行すへき歲出金支拂通知書を竊取して金員を得んことを企て昭和十年一月末頃東京市下谷區西黑門町二十一番地印刻業堀肇方に到り情を知らさる同人に對し携帶中の草稿を示し「後閑營林署」「營林署技手平山清一」なるごむ判を僞造せしめ本年六月九日午前十時四十分頃右東京營林局庶務課の自席に於て執務中手許にありたる植田町營林署宛に發送すへき封書中より植田町營林署宛に發行したる四千九百貳拾圓の支拂通知書を拔取り竊取後直に自宅に持歸り僞造印鑑を押し領收證を僞造の上同月十一日午後二時三十分頃自ら之を持參して平町所在日本銀行平代理店なる株式會社常陽銀行平支店に到り同所に於て同銀行出納係鈴木武之輔に提出行使し同人より金四千九百貳拾圓を受取りたるものなり

飲食店を恐喝

金を出せと暴れ込む

十六日朝五時半頃湯本町字笠井料理店大和屋方へ金を出せと暴れ込み出さぬと暴力團を連れて暴れ込むと脅迫中の暴漢があるのを通知によつて知つた湯本駐在巡査が駈けつけ本署に引致取調べると、右は千葉縣東葛飾郡柏町山澤正藏（二五）で去月中大和家方酌婦東京市生れ渡邊トヨ（二五）が前借二百八十圓を踏み倒して逃走懸賞金五十圓を付けて捜索中なのを知り五十圓欲しさに八方捜索中トメは他人の手に捕まつたので口惜しがり捜索費用を出せと暴れ込んだものと判明した。

磐城丸が明日から秋刀魚場調査

小名濱水産試驗場磐城丸は十四日未明小名濱を出帆東北冷害對策の定期五百浬觀測に從事中であるが、同船は十七日までに調査を了え十八日から秋刀魚漁場調査のため小名濱に歸港せずそのまゝ三陸沖に出航する。

▲箱崎訓導着任

四倉小學校より平第三小學校に榮轉した鈴木定光氏の後任として前飯野村小學校の箱崎武夫訓導が十五日着任した。

常磐線に移動警察

常磐線上野―仙臺間の主要列車は警察官の手薄から車內盜難が頻發し且つ大演習も迫つたので平署では十七日仙臺行の急行列車から主要各列車へ移動警官を乘車せしめ徹底的に取締りを行ふた。

義務教育費町村調査

本縣では義務教育費國庫負擔法第五條による本年度特別町村調査のため來る二十四日から左の日割で打合せ整備の町村主任者會を開く

十月十五日平、飯野、夏井、高久、豐間、鹿島、內鄉、好間、赤井、永戸澤渡、神谷、草野、大浦四倉、平窪、上小川、川前、

十六日石城郡內右以外の町村、

前町議詐欺を働く

平町前町會議員某（五三）は赤井村大字赤井字窪田七八の建坪の家屋が赤井村矢吹廣造、吉村リン兩氏に五百圓の抵當權が設定してあるのにも拘はらず赤井村磯上彌之松氏に百二十圓で賣却し手金として五十圓を受取つたので詐欺事件として其筋で目を光らしてゐる。

▲輕音樂の夕

平輕音樂トリオ主催『音樂の夕』は十月三日午後七時から聚樂館で公開する筈で郡山同好が應援する、プログラムは左の如し。

△第一部　ハイキングノ唄　タンゴ夕べ、灰かに、涙の春、ギター伴奏、山は夕燒、南國の夜、ヘロツト谷間の灯、スロノクルツ思ひ出の雪、ワンダーバー、ポエマバラのダンゴ、ダニユーブ河の漣。

第二部　流行歌、白衣の佳人、綠の地平線、白い椿の唄、アコーデオン獨奏流行歌、東京娘、慈悲心鳥、ギダー獨奏、トロツト山の人氣者、ワルツ波と共にボルガユーチ黑い眸。

▲內鄉の賭博

十五日午後十一時半頃內鄉村高坂魚行商鷲谷彌七（四一）方で同人外左記四名が車座となり丁半賭博を開帳中平署に一網打盡に捕はれた。

同村御殿魚商松岡松治（五四）同村大窪高橋春吉（四〇）湯本町千葉勘六（五五）平町禰宣町高橋好勝（三四）

▲乞食の死体

十七日朝平町仲間町天神社境內に八十歲位の乞食の變死体あるのを平署で檢死の上町役場に死体を引渡した。

四名の暴力團
短刀で暴れ込む
鞍替をした酌婦が
挨拶せぬのに憤慨

内郷村大字宮坑夫菅野幸一（二三）同稻田實（二五）同加藤安一（二九）同阿部師一（二五）の四名は去月二十八日夜十二時頃同村料理業福島亭方前道路で同亭の酌婦鈴木ハツエ（三〇）に對し東京から鞍替えして來て縄張りの俺に顔出しをしないのが不埒だと難詰した上散々に殴りつけ全治二週間の重傷を負はせ更に短刀を揮つて同亭に上り込み酒を呑んだ上器物類を投げつけて滅茶苦茶に壞し亂暴を働いて引揚げた事平署で探知し平署で檢擧取調べ中であるが銃砲火藥取締法違反として送局する事になつた。尚ほさきに檢擧した同村蒲生正利（二九）は前記四名の親分で短刀その他の兇器を子分に與へてゐたもので蒲生も大罪名で送檢されるが、同村は不良坑夫、香具師等が多く平署では先般來檢擧の手を進めて來たが更に引續き檢擧の手を延べる筈である。

レヂスター
泥棒逮捕

湯本町日渡生れのルペン荒川文吉（五四）は十四日夜十一時頃磐崎村上湯長谷字力石雜貨商大内爲三方に忍び込み現金七圓八十錢在中のレヂスターを窃取附近の藤安一（二九）同阿部師一（二五）の四名は去月二十八日夜十二時頃同村料理業福島亭方前道路で同亭の酌婦鈴木ハツエ（三〇）に對し東京から鞍替えして來て縄張りの俺に顔出しをしないのが不埒だと難詰した上散々に殴りつけ全治二週間の重傷を負はせ更に短刀を揮つて同亭に上り込み酒を呑んだ上器物類を投げつけて滅茶苦茶に壞し亂暴を働いて引揚げた事平署で探知し平署で檢擧取調べ中であるが銃砲火藥取締法違反として送局する事になつた。尚ほさきに檢擧した同村蒲生正利（二九）は前記四名の親分で短刀その他の兇器を子分に與へてゐたもので蒲生も大罪名で送檢されるが、同村は不良坑夫、香具師等が多く平署では先般來檢擧の手を進めて來たが更に引續き檢擧の手を延べる筈である。

新生活强調週間について

平町小學校（寄）

（その一）

新生活强調週間第一日

東北地方新生活强調週間に就いて

平第一、第二、第三小學校

東北地方は土地僻遠であつて天惠を受けること極めて薄く、各種の産業は振はず生産振はず其の上氣候風土の關係上連年に亘り各種の社會事業がその本領となつて災害に脅かされ地方民の生活程度は從來他の關東關西の地方に比し頗る低かつたのである。識者間に於ては寄々これを憂へ其の原因を本をなすものは殆んど活動を爲す人的條件の擴充如何にある、この人的條件の擴充には新生活運動を興し、衣食住の改善に昭和維新の根本精神を根源として、之が實地の應用を要諦とし講習、講演、映畫、見學、展覽、出版等に依る通俗的の指導による社會教化運動を展開し、特に昭和九年空前の冷害に依る凶作でこの報が全國に傳はるや朝野の士は今更の如く之を視之を憂へ東北地方振興の問題が俄然重大に取扱はれ本縣に於ては東北生活更新調査研究と對策が進められ會支部と共同主催の下に九月二十日を中心として縣下一齊に新生活强調週間の設定を見たわけである。

パンは
東京堂
電一〇八

コンポーク
塩豚
平町田町
三二三屋
電話三二三番

許可省蔵大
常共行共
実堅意誠
無事故
無違反
無時間
無運賃
断然群ヲ抜ク
電話三一八番

カクテール
イワキタピラーデン352
レストラン　サロン

醸造石數四千石
昭和二年以來連續優等入賞
銘酒
御◎◎◎◎披露中特價一、四〇
平町田町
永山酒店
電話二〇七番
醸造元
山形縣西村山郡
設樂規矩三郎

開院
皮膚科專門
泌尿器科
花柳病科門
診療　午前八時ヨリ
時間　午後九時マデ
平町田町（山内醫院跡）
江尻醫院
電話六九一
入院隨意
醫學博士　江尻伊三郎

産婦人科
花柳病科
井坂醫院
平町田町（電話五五九番）

化粧品、理髪器具
クリーム、ポマード……ハカリ賣り
式

安全剃刀（自動研皮砥付）　白衣と鏡（大小各種）
芳香園理髪器具店
平驛前（電話六八〇番）

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士　鈴木正男
（入院のお需に應ず自炊の便あり）
平町田町藤田女學校前（電話五八番）